

好成績を残した卓球新人大会

10月7日(木)、
峡南地区新人体育大会が行われ、本校からは卓球男子、女子が参加しました。久しぶりに参加した公式大会ということからか、中には緊張した様子が見られた生徒もいましたが、全員がよく頑張り好成績を残しました。



男子は6人全員が個人戦に参加しましたが、そのうち4人がベスト8になるなど健闘し、2年生の佐野健さんは、準決勝では負けたものの、3位決定戦で見事に勝利して3位入賞を果たし、賞状を手に入れました。



午後に行われた団体戦でも6人全員が試合を行い、3校中2位という結果に終わりました。

男子個人戦第3位、 団体戦第2位

南翔祭から一月が経ちました。生徒は満足感、成就感を胸に刻み、3年生は進路決定に向けた教達検に、1、2年生は地区新人大会に向けての取り組みを進めてきました。8月から拡大したコロナ感染状況のため、9月末までは部活動も縮小、制限されました。最近の感染者数の減少に安堵をするとともに、修学旅行など今後控える行事を考え、第6波が来ないことを願う日が続きます。



南翔

令和3年10月15日
文：校長 丹沢伸也

青少年赤十字加盟

今年度より、本校は青少年赤十字に加盟することとなりました。

青少年赤十字活動の目的は、○児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できること。
○日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切にし、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人人々と友好親善の精神を育成すること。

頭には、さまざまな活動を学校として、



と、大きく進歩し上達した様子が見られました。これから先、「南中が上位を狙うことが十分できる」、そんなことを期待させてくれる大会内容でした。この後、個人戦、団体戦とも、11月に県大会が行われます。県でも個々の力が出し切れるよう頑張ってください。

で進めるわけですが、特に新しいことに取り組みむのではなく、日常本校で行ってきた様々な活動を、青少年赤十字活動の3つの実践目標「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」につながることを意識しての活動となります。

10月14日に、全校集会を行い、生徒に青少年赤十字加盟したこと、その歴史や目的、活動内容、本校でどのように取り組んでいくのか等、説明をしました。生徒が主体となって行う活動としては、具体例として、



衛生管理マニュアルに基づく 感染レベルが「1」に

新型コロナウイルスの感染状況の指標として、「感染レベル」「感染ステージ」等使い分けられています。政府の分科会が示す「感染ステージ」とは別に、文部科学省で作成する「衛生管理マニュアル」に基づく感染レベルがあります。こちらについては、その地域の状況によって、県や町など、各自治体で判断することになっていきます。9月に入ってからのコロナ感染者数の減少を踏まえ、市川三郷町では9月30日に感染

実践目標の「奉仕」では、生徒会活動で位置づけられている、収集活動や募金活動、委員会活動などがあげられます。これから活動を進めていく中で、赤十字の理念にあるような「世界の平和と人類の福祉に貢献できる」意識を育んでいけたら良いと考えています。



レベルをこれまでの「レベル2」から「レベル1」としました。これにより、感染症対策も一部緩和され、教科学習も、身体の接触を伴う活動や調理実習といった「感染リスクが高い活動」も注意をしながら行えるようになりました。現在の感染の減少が一時的なものなのか、そうでないかはわかりません。学校では、引き続き必要な感染症対策を行いながら教育活動を進めていきたいと考えています。

お知らせ

○2年ぶりの柔道授業
コロナ禍で昨年実施できなかった柔道の授業を11月に実施します。11月8日から5回に分け、六郷の武道場で講師を外部指導者をお願いして実施をします。昨年授業ができなかった3年生も2年生と一緒に授業を行います。

○思春期体験学習および
職場体験学習
3年生が行っている思春期体験学習ですが、今年もコロナ感染症を考慮し、直接赤ちゃんやお母さんとはふれ合わず、妊婦体験等の体験学習を中心に10月22日に六郷中学校で行います。

2年生の職場体験も、個々に体験する事は行わず、日本ブライダル協会が主催し、町が協賛する「学校ウエディング」授業を通して職業について学ぶことに替えることとしました。こちらは10月27日に市川中で実施します。

○3年修学旅行について
延期をしていた修学旅行ですが、11月28日から2泊3日の日程で奈良、京都を訪れる予定です。保護者への説明会を、進路説明会に併せ10月22日に行います。